

地域と共に創る
PTA活動を目指して



島Pだより

No.54

2025.3



令和6年度を振り返って

島根県PTA連合会

会長 坂手 洋介

日頃からPTA活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

令和6年度は8月に島根県PTA連合会研修大会仁多大会を行うことができました。島根県全体での大会として久しぶりの開催でした。当日は大変暑い一日でしたが、役員の皆様にご尽力いただき、会場は満席となり大盛況で無事に終わることができました。

また、12月には家庭教育委員会と松江市PTA連合会と共催で合同研修会を開催しました。こちらも多くの方にご参加いただき、実りある研修会となりました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

そして、島根県PTA連合会ではPTA活動等の一層の充実と発展を図ることを目的として支援事業を行っています。今年度は23の単P・市郡Pより応募がありました。地域の特徴を活かした活動など活発に行われていることがうかがえ大変うれしく思います。

日本PTA全国協議会では8月に第72回日本PTA全国研究大会川崎大会が開催され、全国各地より約6,000名の参加者があり、島根県からは17名が参加されました。「ウェルビーイングの実現を、川崎の地から～活かそう縁の力～」の大会スローガンのもと2日間にわたり、講演会やディスカッションが行われました。

11月には第54回日本PTA中国ブロック研究大会 やまぐち大会が開催されました。当日は、大荒れの天気となり高速道路、JR線が軒並み通行止め、運休となり 島根県から参加予定の方も、多くが参加できない状況となりました。一時は、開催も危ぶまれましたが、山口県PTA連合会の皆様のご尽力により 予定通り開催されました。参加された皆様は、ここで得られたものをぜひ地域のPTA活動に活かして欲しいと思います。

また、同じ11月には令和6年度年次表彰式も行われました。島根県からは、大田市立第一中学校PTAが表彰されました。

広報紙コンクールでは、日本PTA全国協議会会長賞に松江市立乃木小学校PTAの「のぎっこ通信」、教育家庭新聞社社長賞に、安来市立十神小学校PTAの「学鐘」と安来市立第一中学校PTAの「清流」、佳作に松江市立八雲中学校PTAの「星雲」が選ばれ受賞されました。45の受賞校のうち4つの受賞が島根県からで、これまでにない快挙です。日頃の活動の成果、PTA活動に対する情熱などが大きく評価され大変うれしく思います。本当におめでとうございます。

令和6年度も子ども達の笑顔や真剣に取り組む眼差しに接し、健やかな育ちのために、地域・学校・PTAそして子ども達との繋がりをもっと密にし、それぞれの思いを共有し、最大限に活かしていくことが重要であると改めて思いました。

引き続きPTA活動にご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

誰もが、誰かの、たからもの

島根県中学校長会 会長 神谷 祥久



保護者の皆様、日頃から各学校の教育活動にご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。深く感謝申し上げます。

題に掲げましたフレーズは、島根県が“島根らしさ”を表現するメッセージとして使われているものです。私には、「君たちは一人じゃない。誰かに必要とされる存在だ。見守っているから挑戦していこう!」と、エールを送られているように感じられます。

最近の報道では、不登校やいじめ、ヤングケアラーに係る問題など、子どもたちを取り巻く問題が多く取り上げられています。直近では、オーストラリアで16歳未満のSNS禁止法案可決というニュースも飛びこんできており、子どもたちの世界が子どもたちだけで閉じられているのではなく、大人の社会と直結していることを実感させられる状況です。

そのような状況にあっても、子どもたちの考え、判断基準にはまだまだ幼い部分があります。その子どもたちを、自立し未知なるものに自ら挑戦できる大人に育てることが私たち

大人の責務です。そのためにも、学校と家庭が育てたい子どもの姿を共有し、同じ方向を向いて子どもたちの成長を支えていきたいと強く思っています。

日々お世話になっている保護者の皆様に更なるお願いをすることをお許しいただけるとするならば、ぜひとも、お子様の友達に声をかけてくださいということです。子どもたちは成長するにつれ、特に思春期に入ると、なかなか親や教員の話は耳に入りにくくなってきます。自分と関係性の少ない大人や少し年の離れた先輩が語りかけると、教員と同じ内容の話をしていただいても、スムーズに心に響いていく現状があります。私たち教員も努力していく必要がありますが、ぜひとも、友達のお父さん、お母さん、地域の、学校の先輩という立場から語りかけていただくことが、子どもたちの成長に大きく寄与するものと思っております。子どもたちが自立し、社会に貢献できる大人となれるよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

第54回日本PTA中国ブロック研究大会 「やまぐち大会」へ参加して

江津市PTA連合会 会長 植田 圭介



この度、令和6年11月2日に開催された第54回日本PTA中国ブロック研究大会「やまぐち大会」へ参加してきました。

当日は豪雨となり、国道が通行止めになったり、公共交通機関が麻痺するなど大変な1日でしたが、来場が難しい場合はオンライン参加に切り替えして対応されていました。私は運良く通行止めを迂回することができたので、会場参加できました。

実践発表では山口市徳地地区PTA、山口市小郡地区PTA、萩市立萩東中学校PTAのそれぞれの取り組みについて知ることができました。山口県はコミュニティスクールの設置率が100%であり、学校と地域が連携・協働して様々な取り組みを実践されていました。

印象的な内容として、単位PTA(以後 単P)で取り組めなくなった文化(例えば獅子舞いの継承や、学校ライトアップなど)について、地域団体や中学校PTAが継承する取り組みがあげられます。単Pから地域や地区PTAへ引き継ぐ事で、人口減少や学校統合などの時代の中において、残していきたい文化を残していく取り組みとなっていました。この背景には、各単P同士が地区単位で定期的な交流をしている事や、地域団体と一緒にPTAの活動をやっている基盤があるからこそ実現できているものだと感じました。そ

の他にも、地域にある資源を把握し活用する観点や、大人自身が楽しむ姿を子ども達へ見せる事を意識するなど、PTAにとどまらず、人と人との社会をつくって行く基盤にもなる考え方や実践について学ぶ事ができました。

記念講演ではゴルゴ松本さんによる「出張!ゴルゴ塾 命の授業」でした。新幹線が止まってしまった関係で、ゴルゴ松本さんはギリギリでの会場到着となり、新幹線から降りて旅行カバンを持ったままのステージ入場で冒頭から笑いの空間になりました。その後は漢字の持つ意味や歴史を紐解きながら、私たちがどのような文化や考え方を継承しながら今を生きているか、とても楽しく、分かりやすく説明され、深い学びになりました。

また、ゴルゴ松本さんの会場到着までの間に、時間があったことから急遽各県単位のPTA会長によるトークセッションも行われました。岡山県PTA連合の解散について状況が共有されたほか、島根については坂手会長より単Pの支援事業について紹介しました。

悪天候もありましたが、オンライン活用や、柔軟な進行により、楽しみながらも密度の高い学びの場となりました。

市郡P連活動報告

市内高校生とのキャッチボール

浜田市立第一中学校PTA 保健部 大谷 海

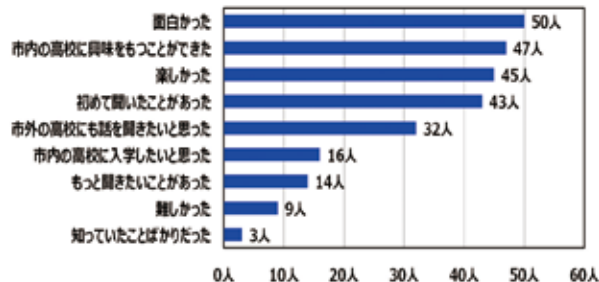
「浜高、浜商、浜水のココが知りたい」を大きなテーマに掲げ、実現に向けての第一歩が始まりました。浜田市内には、それぞれの特色を活かした素晴らしい高校が3校も存在しています。中学生の皆さんや、保護者の皆様に、その特色をもっと身近な声で知ってほしいなという思いから生まれた企画案であり、現役高校生との繋がりをつくり、聞いて、伝えて、知ってほしいという事を一番の目的とし進めました。実現に向け様々な課題もクリアされていく中、嬉しい事にこちら側からの一方的な案を提示するだけでなく、高校側からも「生徒間の距離を縮める為、机は下げ、生徒と椅子だけにするのはどうか？」等と積極的に提案を頂いた事が嬉しかったです。中学生から各高校生への質問は、順番制等ではなくランダムで選出されるようなドキドキ感、高校生は、いきなりどんな質問がぶつけられるのだろうかというワクワク感を持って頂き、互いに楽しい時間になったと感じています。



活動後、高校生から多数の感想を頂く事が出来ました。特に印象的な感想は、「私が担当したのは1年生だったのですが、皆さんしっかり私達の発表を聞いてくれて質問もしてもらえて良かったです。自校だけでなく、他校さんについても聞く事が出来、それぞれの特色をより理解出来ました。機会があれば参加させて頂きたいです。」と頂きました。

今回は大人の発想から始めた案ではありましたが、高校生の皆さんは、大人以上に今の中学生さんへの期待感であったり、もっと距離を縮める時間を持ちたいんだな、伝えたいんだなという気持ちが伝わりました。

中学生さんから頂いた一言感想です
高校生の話を聞いて●●● (1,2年生106人から、1人3つまで)



親と子がいっしょに学ぶ人権研修会

羽須美中学校PTA 会長 谷 重喜

私たちの羽須美中学校は邑南町の羽須美地域にあります。昔から水泳とソフトテニスが盛んな地域ですが、スポーツだけでなくその他の場面でも地域行事等で学校・地域・保護者が一体となって子どもの教育にあたっています。

羽須美中学校のPTA活動としての主な内容は2学期の奉仕作業と3学期のPTA人権研修会です。令和3年度においては新型コロナウイルス感染症の拡大により、PTA人権講演会を中止としましたが、それ以外の年度は講師の先生をお呼びしてご講演をいただき、子ども・保護者・教職員と一緒に学んできました。

令和5年度はここひろshimaより當山敦己さんと高畑桜さんをお招きし、「自分らしく生きる～ここからだもいろいろ、彩り豊かでええじゃん!～」と題し「心と体」「自分の性」について全校生徒と保護者、教職員へご講演いただきました。講師の先



ICT教育と目の健康

飯石郡PTA連合会 会長 森山 篤

飯南町では、情報通信技術が発展し続ける時代を生きる子どもたちに、必要な資質・能力を養うこと、学校の学習と家庭の学習との境目をなくし、自主的な学びを実現することを目的にICT教育を推進しています。

授業の振り返りや課題の提出に活用されるとともに、コロナ禍での臨時休校時のリモート朝礼や授業動画の配信も行われ、年々成果が上がってきています。



そうした中、学校保健会で危惧されるようになったのが、子供たちの目の健康でありました。令和5年6月に町内の小学3年生から中学3年生までのアンケートを実施され、5割の児童・生徒が何らかの体の不調を感じていて、睡眠に関する症状を訴えていることが判明しました。

このことから、健康課題を「目の健康」「睡眠」「姿勢」として、町民も巻き込んでの「健康い〜にゃん週間」を各学期に1

回実施し、学校のみならず各家庭において家族も一緒になってメディア機器を扱う姿勢や睡眠1時間前までに使用を止めるといった意識づけを、PTAも一緒になって取り組んでいます。

今後もこの健康週間をきっかけに私たち大人もメディア機器との付き合い方を習慣づけて、子どもたちの健康づくりに取り組んでいきたいと思います。

映画『夢みる小学校』の自主上映会

島前PTA連合会 会長 浅井 峰光

島前PTA連合会からは、令和6年度の研修事業としておこなった映画の自主上映イベントをご紹介します。

子どもの学びに関わる大人たちが一つの映画を鑑賞することで、教育についての対話が始まるきっかけになるようにとの願いを込めて映画『夢みる小学校』を上映しました。当日は保護者をはじめ学校関係者や子どもたちがたくさん参加されました。

映画のキャッチコピーは「ミライの『公教育』がここにある」。子ども主体の学びづくりに取り組む4校に焦点が当てられ、当事者である子どもや彼らを取り巻く大人たちの生の声もたっぷりと収録されており、物語を通してユニークな取り組みに触れることができました。また鑑賞後にはアフタートークを実施しました。ゲストに招いた高校生は、映画に取り上げられた「きのくに子どもの村学園」の卒業生。その学校に通って良かったことや思い出、今の自分につながっていることなどを話していただきました。会場からは質問も多く飛び出し、ユニークな教育活動への関心の高さがうかがえました。

鑑賞後の感想には「夢みる学校をつくるために親である私が保護者として変わることが大切。子どもたちと共に学び続ける大人でありた

い」や「学校や教育を変えるということではなく自分が変化することから世界が変わっていくのだと再認識した」とあり、自身に寄せて考える機会になったようです。また参加者の中には「同シリーズの別の映画の上映会を企画してみたい」という声をあげる方もおられ、対話の輪が広がっていく兆しを感じられる上映会となりました。



令和6年度

優良PTA文部科学大臣表彰・ 日P表彰団体、広報紙コンクール全国表彰 受賞団体

・優良PTA文部科学大臣表彰

松江市立八雲小学校PTA
安来市立第一中学校PTA

・日本PTA全国協議会 会長表彰

団体 大田市立第一中学校PTA

・広報紙コンクール

日本PTA全国協議会会長賞
教育家庭新聞社社長賞

佳 作

松江市立乃木小学校PTA 「のぎっこ通信」
安来市立十神小学校PTA 「学鐘」
安来市立第一中学校PTA 「清流」
松江市立八雲中学校PTA 「星雲」



創立150周年の節目に

乃木小学校PTA 副会長 矢田 恵

この度、乃木小学校PTA広報紙「のぎっこ通信」が第46回全国小・中学校広報紙コンクールにて日本PTA全国協議会会長賞を受賞しました。2800校の応募の中から文部科学大臣賞に続く栄誉ある賞をいただき大変光栄に感じています。受賞の知らせを頂いたとき、今一度手元にある広報紙を開いてみました。そこには、乃木小学校を支えるたくさんの人々と子どもたちの笑顔。そして、私たちを支えてくださる地域の姿。まさにありのままの乃木小学校が掲載されています。ことに昨年は、ずっと取材をしたいと思っていた地域の方へのインタビューが叶い、より力を入れた広報紙でした。

日頃から、わかりやすく楽しいものにすることを大切にし、保護者の「知りたい」、学校の「伝えたい」、地域の「知ってほしい」に応えられるような内容を目指して作成しています。特に乃木小学校は、県内でも大規模校と言われており、児童、教員、保護者も多く、PTAの活動を伝えるためのツールとして広報紙は必要だと感じています。年3回、学期末に発行し、たくさんのおたよりの中に混じってもひと際目の引く読み物でありたい。ラ

ンドセルの底でぐちゃぐちゃになっても、保護者の手元に届いてほしいと毎回願って発行しています。

乃木小学校は今年度、創立150周年を迎えました。記念すべき年に乃木小PTAが表彰を受けたことに大変嬉しく思います。デジタル化が進む現代で、紙媒体の広報紙がいつまで作成できるかわかりません。それでもリアルな私たちの活動を手にとってもらえるように作り続けていきたいと思います。さあ、いこう。乃木小学校。さあ、いこう。未来へ。



島根県PTA 連合会家庭教育委員会・ 松江市PTA 連合会合同研修会

家庭教育委員会 委員長（松江市PTA 連合会 会長） 福島喜美子



12月14日(土)くにびきメッセを会場に、全国的に著名な教育評論家 親野智可等さんをお迎えし、講演「叱らなくても子どもは伸びる!!『親子関係がよくなり 学力も上がる』とおきの方法とは?』～勉強・学力向上・ゲーム・スマホ・しつけ等、目から鱗の子育てと家庭教育～」と題し、研修会が開催されました。約400名の参加があり盛会に終えることができました。

講演前のアトラクションに、今年、第65回全日本吹奏楽コンクール島根県大会中学生小編成の部にて40年ぶりとなる代表金賞を受賞された松江市立八雲中学校吹奏楽部の生徒の皆さんに演奏をお願いしました。オープニングにふさわしい素晴らしい演奏に圧倒されました。生徒さんの真剣な姿に感動して涙を流す方もおられ、研修をより深めることとなりました。

講演では、かけがえのない家族と笑顔で過ごすために、楽しみながら子どもの人間力、生きる力、学ぶ力を伸ばす子育てのヒントを学びました。「とても心に響き勉強になりました。」「先生の話を通じて聞かせていただき目の前が明るくなりました。」「家庭教育に生かしていきます。」等、沢山の好評な意見をいただき、参加された皆様に、よい気づきとなった研修会になりました。子どもを幸せ体質にしてあげれば将来も幸せになる!将来の幸せのために、親があれもダメこれもダメ!と毎日子どもに口を出し、今を不幸せにしているのか? 将来の幸せのために今を犠牲にする発想の子育てはやめて、今の一日

一日を幸せにしていく大切さ、こどもの自己肯定感を高めていける親子関係であることの大切さを学ばせていただきました。

親野智可等さんの本の中で、「子育ては、他のどんな仕事より難しく、他のどんな仕事より大事です。ひとりの人間をお預かりして育てさせて頂いているのですから。それを毎日行っているあなたは立派です。そのこと自体に誇りと自信をもってください。そして、疲れたら休んでください。誰かに愚痴を共感的にたっぷり聞いてもらうのも効果的。そういう場所や人を確保するよう、日頃から心がけてほしいと思います。」と書かれていました。『そういう場所や人』が集まるところがPTA活動にあると思います。子どもを真ん中にすえて、思いや情報を共有し合うPTA活動を通して、まだ、可愛い私たちの子どもでいてくれるこの時期を、皆で大切に、大事に、楽しく過ごして育てたいと思っています。

子どもを幸せ体質にしてあげれば将来も幸せになる!!

『いまここを』楽しんでいきましょう。



令和6年度支援事業 支援助成結果

第1次

益田市PTA連合会	PTA実践発表・講演会
益田市立安田小PTA	アルミ缶回収事業
益田市立益田東中PTA	親子音楽鑑賞・合同演奏会
江津市PTA 連合会	親睦交流事業eスポーツ大会
松江市立八雲中PTA	つながろう!みんなでつくる学年行事
松江市立堀屋小PTA	親子ふれあい活動
松江市立第二中PTA	人権教育講演会
松江市立川津小PTA	めざせ! 小学生しゃちょー!!
津和野町立木部小PTA	人権・同和教育講演会
鹿足郡PTA連合会	講演会「子どもの将来を親子でみつめる家庭」
大田市立川合小PTA	PTA夏祭り
大田市立第三中PTA	高山地区研修会「睡眠の重要性について」

大田市立仁摩小PTA 「ぐっすり眠って、心も体も元氣いっぱい プロジェクト」

邑南町立羽須美中PTA PTA研修会・PTA学校保健委員会

第2次

海士町立海士小PTA	海士小PTA夏祭り
松江市立法吉小PTA	芸術鑑賞会
安来市立十神小PTA	親子行事「安来のお仕事発見・体験イベント」
益田市立吉田南小PTA	PTA親子運動教室
益田市立西益田小PTA	まるっとみんなで学びたいむ
江津市立江津東小PTA	研修会
島前PTA連合会	島前PTA連合会研修会
大田市立朝波小PTA	PTA 教育講演会
出雲市PTA連合会	出雲市PTA連合会交流事業

事務局だより 令和7年度事業について

1. 広報紙コンクール

- (1) 応募締切日 令和7年3月31日(月)
- (2) 応募条件
 - ・年1回以上発行していること
 - ・各号につき、3部ずつ送付(コピー・穴あき不可)
 - ・Webで発行されている場合は、Web参加も出来ますのでご相談ください。

2. 県P連会長表彰

- (1) 団体締切日 3月31日(月)
- (2) 個人締切日 4月25日(金)

3. 大会等の予定

- (1) 新旧役員会
5月31日(土)午後～ ホテル白鳥
- (2) 委員総会
6月1日(日)午前10:00～ サンラポーむらくも
- (3) 中国ブロック研究大会広島市大会
8月2日(土)
- (4) 第68回島根県PTA連合会研修大会・鹿足大会
8月3日(日)12:00～16:00
- (5) 日P石川大会 8月22日(金)・23日(土)
- (6) 幼こども園・小中・高・特別支援PTA 連絡協議会研修会
会場:松江市 11月29日(土)予定



令和6年度

島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA合同研修会

講師 井村 尚嗣 氏(元 広島ホームテレビアナウンサー 現 日本ペップトーク普及協会認定講演講師)

研修テーマ『人(大人も子どもも)をポジティブにする』 ～やる気を引き出す魔法の言葉～

○期日:令和6年11月30日(土) ○会場:島根県立大学浜田キャンパス コンベンションホール(浜田市)

この研修会は、本連合会も構成員となっている島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA連絡協議会と島根県教育委員会が共催し、企画・運営を行っています。今年度は、132名(本連合会62名)の方にご参加いただきました。

講師の井村氏には、「人(大人も子どもも)ポジティブにする～やる気を引き出す魔法の言葉～」をテーマに、「言葉には力があること」「相手への言葉のかけ方のポイント」についてわかりやすくお話ししていただきました。「ペップトーク」とは、アメリカでスポーツの試合前に監督やコーチが選手を励ますために行っている短い激励のスピーチです。今回の講演会では、スポーツの場面だけでなく、親子の関わりの場面において、ペップトークの手法を用いてすぐにできるコミュニケーション術について伝授していただきました。

講演では、「ペップトーク」について昨年3月にWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)決勝直前で大谷翔平選手がチームメイトにかけた言葉を例に説明していただきました。ペップトークには、「①受容(事実の受け止め)」、「②承認」「③行動」「④激励」の4つのステップがあります。「②承認」の場面では、「とらえ方変換」を意識すること、(とらえ方変換とは、自己主張が強い→自分の意見がある、頑固だ→



意志が強いなど自分自身が相手のとらえ方を変えること)「③行動」の場面では、「してほしい変換」を意識すること、(緊張するな→リラックスしよう、負けるな→ベストを尽くそうなど「するな」を「やろう」に置き換えて伝えること)などのポイントを伝えていただきました。

子どもたちの短所を変えようとするのではなく、強みを伸ばす関わり方が大切であり、長所を最大限に引き出し、成功へ導くことが保護者の役割であるとお話されました。

講演終了後には、参加者での意見交換があり、研修会の感想やより良いPTA活動について、参加者同士が笑顔で意見交換を行い、学びの多い研修会となりました。

参加者の感想から...

- 明日から、子どもとの関わりに生かしたいと思える内容でした。ポジティブな言葉に変換して、相手に言葉をかけるようにしたいです。
- 楽しかった。良かった!自身の子育ての参考にもなったけれど、PTAっていいなと改めて考えました。
- 言葉の力を大切にしたいと思いました。親も学べるPTA活動にしたいと思いました。

小・中学生総合保障制度

(こども総合保険)

2025年1月現在の内容です。

**オンラインでも
お申し込みいただけます!!**

(詳しくはパンフレットをご確認ください。)



選べる4プラン (2025年度版)

年間掛金【一時払】

Yプラン

17,750円

(1年分の掛金)

Xプラン

10,490円

(1年分の掛金)

TCプラン

7,260円

(1年分の掛金)

ACプラン

5,190円

(1年分の掛金)

総合保障制度の特長

※プランによってセットされている補償項目は異なります。総合保障制度の詳細に関しましては、パンフレットをご覧になるか取扱代理店・扱者または引受保険会社にお問い合わせください。

- いじめ、SNS上での誹謗中傷、ストーカーなどの被害にも備えられる!
- 学校貸与の端末(タブレットなど)を誤って壊して、法律上の損害賠償責任が生じたときも補償!
- 自転車事故でお子さまが加害者になってしまった場合の損害賠償責任も国内無制限補償!
- お子さまがケガをした場合に補償
- 熱中症、細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を補償
- 学校の授業・登下校中などにお子さまが携行している身の回り品を補償
(修理費または時価額のいずれか低い金額を補償します。自転車等一部補償対象外のものがあります。)
- オンラインで簡単に保険金請求(デジタル保険金請求)

※デジタル保険金請求の対象となる補償の有無は、加入者証にてご確認ください。

取扱代理店・扱者

有限会社メイジ

出雲市斐川町直江4888-4
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)
TEL.0120-001-230(通話料無料)

引受幹事保険会社

AIG損害保険株式会社 山陰支店

松江市伊勢宮町519-1
(受付時間:午前9:00~午後5:00 土、日、祝日、年末年始を除く)
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776

承認番号:S-250318 有効期限:2025年12月